

子ども教育学科

Faculty of Childhood Education



高校生のみなさんへ

みなさんの印象に残っている先生は、どんな先生ですか？ 優しくかった先生、厳しかった先生、相談にのってくれた先生など、これまで様々な先生に出会ってきたと思います。先生との忘れられない思い出がある方もいるでしょう。先生になるための学びのおもしろさのひとつは、生徒の側からは見えない先生の視点を知ることにあります。そうした先生の視点の多様さや奥深さについて、共に学び、考えていきましょう。



講師：修士（教育学）

森下 真実

モリシタ マミ

担当科目

学びのベーシック（1）（2）
教職入門、学校経営論 他

授業紹介 ～学校経営論～

この授業名を聞くと、「校長先生の仕事」を連想されるかもしれませんが、「経営」の考え方は、校長先生だけでなく、すべての先生が仕事をするうえでとても大切なものです。そうした「経営」の考え方を学ぶために、授業では、小学校や教師の具体事例を用いながら学校経営の理論を解釈し、組織として問題解決をするためのグループワークを行なっています。

ゼミ学生へのインタビュー

待鳥 勇樹さん（写真左）

森下先生の授業は、学生同士の話し合いなどの活動が多く面白い授業だと思います。話す（誰かに伝える）事で自分の中でさらに理解する事ができるし、他の友達の別の意見を聞く事ができるので、面白いです。

長岡 亜希さん（写真中）

森下先生は、相談を親身になって聞いてくれる優しい先生です。学業に関するだけでなく、将来に向けた指導も手厚くしてくれます。

中川 実紅さん（写真右）

森下先生のゼミでは、卒業論文のテーマについて一人で考えるのではなく、ゼミのメンバー全員で意見を出し合って考えていきます。そのため議論をする力が自然と身につき、とてもためになります。